

前計画(現行計画)の取組と評価

1. 前計画の目標と取組

1.1. 前計画の目標

これまで本市では、令和3(2021)年3月に策定した「三次市地域公共交通計画(以下、前計画)」に準じて、地域公共交通体系の構築に取り組んできました。

前計画では、計画期間の目標を3点掲げて、事業を推進しました。

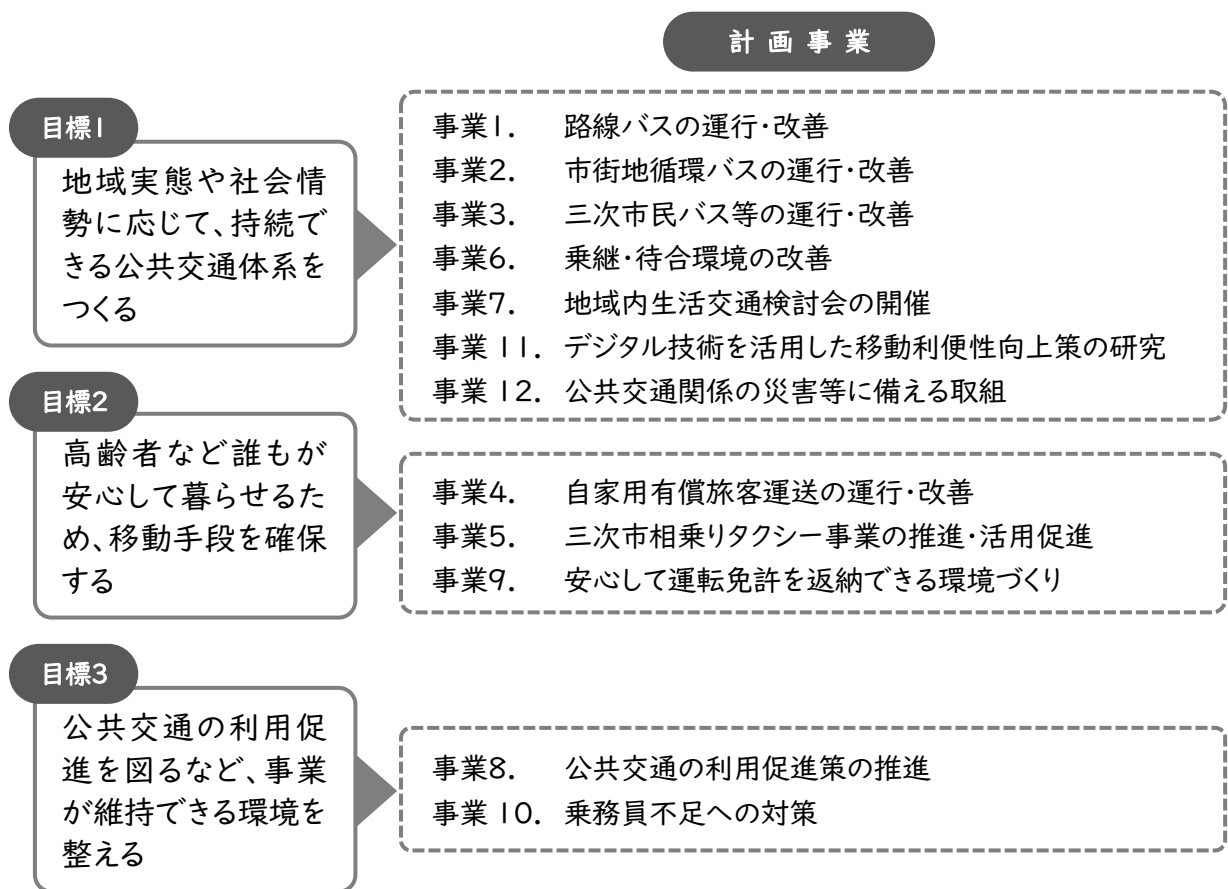


図 目標と事業の対応

1.2. 事業実施状況

目標の達成をめざして推進してきた各事業の主な取組を次表に示します。

表 前計画の事業と取組状況(令和3(2021)年~令和7(2025)年度)

前計画の事業	主な取組状況	実施主体
[事業1] 路線バスの運行・改善	●経常収支率を指標とした再編を推進	民間バス事業者、 三次市
[事業2] 市街地循環バスの運行・改善	●市街地循環バス(くるるん)の運行 ●市街地エリアでのオンデマンド交通実証運行	三次市、民間バス事業者
[事業3] 三次市民バス等の運行・改善	●三次市民バス等の運行 ●路線の再編(吉舎町、三和町) ●一部フリー乗降化(布野町、三和町) ●廃止代替路線の運行開始(甲奴町) ●区域運行(デマンド運行)への移行(作木町)	三次市、民間交通事業者、三次広域商工会、市民(住民自治組織等)
[事業4] 自家用有償旅客運送の運行・改善	●さくぎニコニコ便を運行(作木町) ●支えあい交通の支援(川西地区)	運営団体(NPO法人元気むらさくぎ)、三次市
[事業5] 三次市相乗タクシー事業の推進・活用促進	●事業の推進 ●制度の見直し(利用条件の緩和) ※最寄りのバス停や駅から1km以上離れた場所に 住む方を、700m以上に見直し	三次市、タクシー事業者、住民自治組織等
[事業6] 乗継・待合環境の改善	●三次駅前等の拠点において、バス情報を発信するデジタルサイネージ整備 ●「よっしゃ吉舎」屋内でのバス待合スペース確保 ●地域住民による吉舎駅舎整備活用の実施 ●地域住民による待合所の清掃活動の実施	三次市、民間交通事業者、市民
[事業7] 地域内生活交通検討会の開催	●住民主導で地域交通を考える検討会を設置、開催	住民自治組織、 三次市、民間交通事業者
[事業8] 公共交通の利用促進策の推進	●バスの乗り方教室の実施 ●「子ども乗り放題バス」「ローカルバス1日フリー券」「ちょこっとパス」販売 ●「どっちも割きっぷ」販売 ●のってのって藩札(JR利用促進の実験) ●JR福塩線・芸備線利用促進事業の実施(イベント列車の企画・運行、インスタグラム開始)	三次市、民間交通事業者、各種関連団体、市民
[事業9] 安心して運転免許を返納できる環境づくり	●三次市高齢者運転免許自主返納支援事業を推進	三次市、 広島県警察
[事業10] 乗務員不足への対策	●交通事業者において、二種免許取得支援や、HP・動画作成などの広報活動等、人材獲得に向けた取組を推進 ●県運営の求人情報サイト「ひろしまワークス」に交通事業者の求人情報を掲載 ※R7(2025)年度より要件を拡大し、対象に含まれた	三次市、民間バス事業者

<p>[事業 11] デジタル技術を活用した移動利便性向上策の研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地エリアでのオンデマンド交通実証運行【再掲】 ●三次駅前等の拠点において、バス情報を発信するデジタルサイネージ整備【再掲】 ●障害者手帳アプリ「ミライロID」市民バスへの利用開始 	<p>三次市、民間バス事業者</p>
<p>[事業 12] 公共交通関係の災害等に備える取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●計画運休や関連情報の伝達・発信など、交通事業者において、自然災害による影響抑制に資する取組を推進 ●音声告知放送、公式 SNS (LINE 等)、市HP等で、市民バス運休情報、通行止め情報を発信 	<p>三次市、民間交通事業者</p>

2. 目標達成状況

2.1. 前計画の評価指標

前計画では、目標の達成状況を把握するため、各目標に対応する評価指標を定めています。

現行計画で定めた目標について、8つの評価指標を用いて検証を行う。

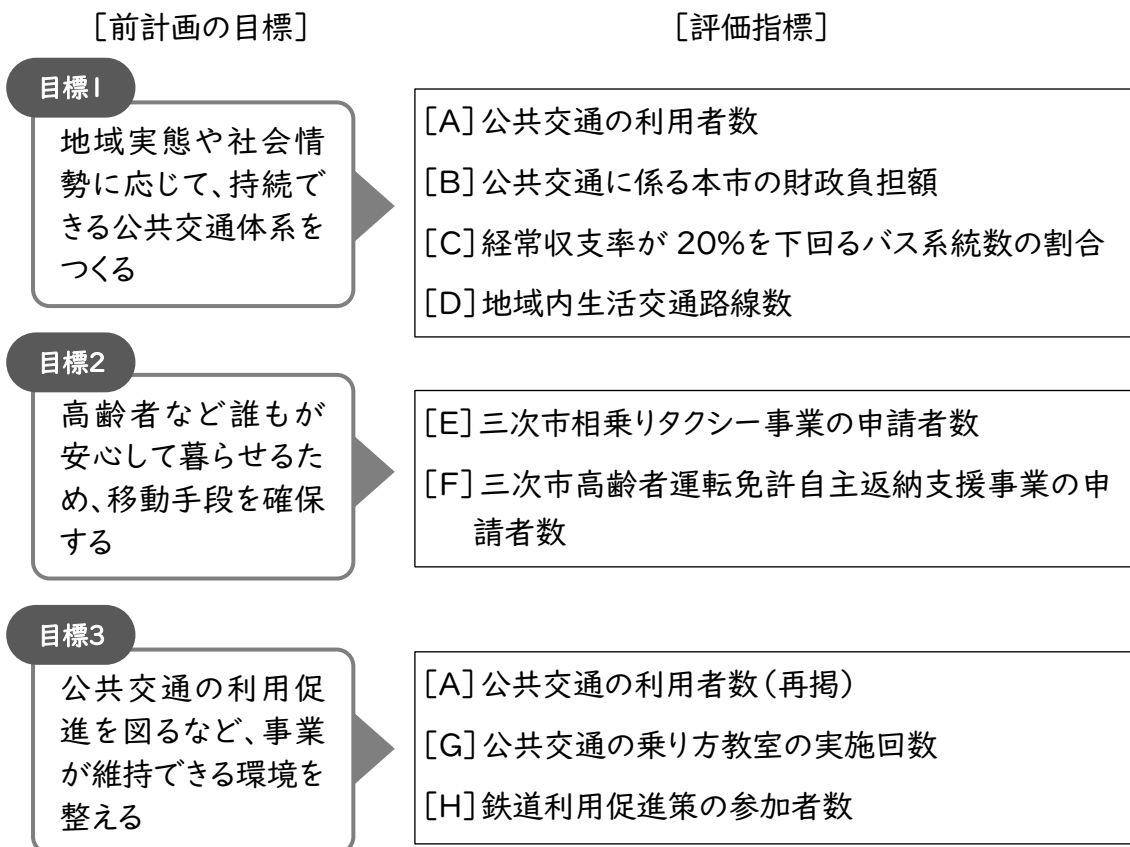


表 前計画の評価指標

	指標	基準値	目標
[A]	公共交通の利用者数	年間の路線バス、市街地循環バス、三次市民バス等、さくぎニコニコ便、三次市相乗りタクシー事業の利用者数の合計のこと 193,450人 【令和元(2019)年】	185,000人以上 【令和6(2024)年】
[B]	公共交通に係る本市の財政負担額	年間の路線バス、市街地循環バス、三次市民バス等、さくぎニコニコ便、三次市相乗りタクシー事業への運行補助額の合計のこと 22,465万円 【令和元(2019)年度】	22,000万円の同等以下 【令和6(2024)年度】
[C]	経常収支率が20%を下回るバス系統数の割合	経常収支率とは、経費と運賃等収益の比率のことであり、市が運行補助を行う路線バスを対象とする 30% 【令和元(2019)年度】	30%以下 【令和6(2024)年度】
[D]	地域内生活交通路線数(第2期三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略における評価指標)	地域内生活交通路線とは、三次市民バス(6路線)、ふれあいタクシーみらさか、三次市相乗りタクシー事業を合わせた8路線のこと 8路線 【令和元(2019)年度】	8路線を維持 【令和6(2024)年度】
[E]	三次市相乗りタクシー事業の申請者数	年間の三次市相乗りタクシー事業の利用申請をした人数のこと 58人 【令和元(2019)年度】	150人以上 【令和6(2024)年度】
[F]	三次市高齢者運転免許自主返納支援事業の申請者数	自動車運転免許の自主返納をした方のうち、三次市高齢者運転免許自主返納支援事業の申請をした人数のこと 294人 【令和元(2019)年度】	400人以上 【令和6(2024)年度】
[G]	公共交通の乗り方教室の実施回数	路線バス、三次市民バスなどの利用機会創出のための乗り方教室を実施した回数のこと 未実施 【令和元(2019)年度】	毎年2回以上 【令和3(2021)年度～6(2024)年度】※
[H]	鉄道利用促進策の参加者数	鉄道(芸備線、福塩線)の利用促進に係る市内の各種事業の参加者数のこと 未実施 【令和元(2019)年度】	5年間で2,000人以上 【令和2(2020)年度～6(2024)年度】

※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の乗り方教室の開催が困難であるため、評価年より除外している。

2.2. 目標達成状況

評価指標の状況は下表のとおりであり、[D]地域内生活交通路線数、[H]鉄道利用促進策の参加者数は目標を達成しましたが、その他の評価指標では、目標が達成できていません。

新型コロナウイルス感染症や定住人口減少と高齢化の影響等に伴い、地域公共交通の利用者数が減少し、加えて運行コスト(燃料費高騰・人件費上昇等)の増加と相まって、地域公共交通サービスを維持するための市負担額が増加しました。また、全国的な傾向と同じく、本市でも運転免許の自主返納者数が減少しており、結果として支援事業の申請者数が減少したとともに、乗り方教室については、コロナ禍の影響もあり開催し難い環境にあったと考えています。

地域公共交通の事業環境は、今後も厳しい状況が継続することが懸念されます。その上で、市民等が安心して市内で暮らすために必要不可欠な地域公共交通体系を、引き続き確保・維持するためには、利用促進に繋がる施策を積極的に実施して、長期的に続いている利用者数の減少を食い止め、さらに利用需要に対して適切な運行サービスへと、必要に応じて柔軟に見直すなど、効率化に向けた取組が必須です。

表 前計画の評価指標の目標達成状況

前計画の評価指標	前計画の目標	達成状況	対応する目標
[A] 公共交通の利用者数	185,000人以上 【令和6(2024)年】	【×】利用者数が減少し、未達成 令和6(2024)年の値:166,126人	目標① 目標③
[B] 公共交通に係る本市の 財政負担額	22,000万円 の同等以下 【令和6(2024)年度】	【×】負担額が増加し、未達成 令和6(2024)年の値:27,342万円	目標①
[C] 経常収支率が20%を下 回るバス系統数の割合	30%以下 【令和6(2024)年度】	【×】割合が2倍になり、未達成 令和6(2024)年度の値:60%	目標①
[D] 地域内生活交通路線数 (第2期三次市まち・ひ と・しごと創生総合戦略 における評価指標)	8路線を維持 【令和6(2024)年度】	【○】維持したため、目標達成 8路線を維持するとともに、更なる持続を目 指し、運行見直し等を推進。	目標①
[E] 三次市相乗りタクシー事 業の申請者数	150人以上 【令和6(2024)年度】	【×】申請者数が減少し、未達成 令和6(2024)年の値:48人	目標②
[F] 三次市高齢者運転免許 自主返納支援事業の申 請者数	400人以上 【令和6(2024)年度】	【×】申請者数が減少し、未達成 令和6(2024)年の値:188人	目標②
[G] 公共交通の乗り方教室 の実施回数	毎年2回以上 【令和3(2021)年度 ~6(2024)年度】	【×】実施回数は少なく、未達成 令和3(2021)年:1回 令和4(2022)年:1回 令和6(2024)年:1回	目標③
[H] 鉄道利用促進策の参加 者数	5年間で 2,000人以上 【令和2(2020)年度 ~6(2024)年度】	【○】継続的に実施し、目標達成 5年間の参加者数:3,338人	目標③

【参考】指標[A][B]の詳細について

[A] 公共交通の利用者数

○地域公共交通の利用者数:令和6(2024)年値

	利用者数
路線バス	137,913人
市街地循環バス	14,976人
三次市民バス・ふれあいタクシーみらさか	10,411人
さくぎニコニコ便	395人
三次市相乗りタクシー事業	2,431人
地域公共交通全体	166,126人

[B] 公共交通に係る本市の財政負担額

○地域公共交通の財政負担額:令和6(2024)年値

	利用者数
路線バス	196,846,000円
市街地循環バス	11,907,000円
三次市民バス・ふれあいタクシーみらさか	61,180,933円
さくぎニコニコ便	2,028,014円
三次市相乗りタクシー事業	1,458,300円
地域公共交通全体	273,420,247円

[H] 鉄道利用促進策の参加者数

○イベント毎の参加者数:令和2(2020)年度~6(2024)年度

		参加者数
令和2年度	芸備線おもてなしマルシェ in 三次駅	500人
令和3年度	芸備線おもてなしイベント	500人
令和4年度	広島ローカル線デジタルスタンプラリー	633人
	芸備線サイクルトレイン	73人
	JR線都市間往復利用促進実証実験事業(三次藩札)	587人
令和5年度	芸備線 de カープ応援	184人
	芸備線サイクルトレイン	40人
	芸備線おもてなしマルシェ	366人(購入者)
	芸備線でのんびり行こう!みよし街歩きツアー	40人
令和6年度	芸備線 de カープ応援	264人
	芸備線 de サンプル&レジーナ応援	43人
	芸備線エッセイコンテスト	108人
5年間全体		3,338人